Cisco Wireless Control System 変換ユーティリティによりデフォルト パスワードが付加される

Critical

アドバイザリーID : cisco-sa-20071010-wcs

初公開日 : 2007-10-10 16:00

バージョン 1.1 : Final

CVSSスコア : 10.0

回避策 : Yes

Cisco バグ ID :

CVE-2007-5382

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

CiscoWorks Wireless LAN Solution Engine（WLSE）をご使用のお客様は、変換ユーティリティを使用して Cisco Wireless Control System（WCS）に変換できます。 この変換ユーティリティでは、デフォルトのクレデンシャルが設定された管理アカウントが作成されて使用されます。 変換処理中にこれらのクレデンシャルの変更が求められていないために、変換が完了した後にデフォルトのクレデンシャルが設定されたこのアカウントを攻撃者が悪用して、WCS の完全な管理者レベルの制御権を獲得する可能性があります。

CiscoWorks WLSE を Cisco WCS に変換したお客様は、Cisco WCS のすべてのアカウントに強力なパスワードを設定することを推奨いたします。

このアドバイザリは http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20071010-wcs で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

バージョン 4.1.91.0 以前の変換ユーティリティを使用して CiscoWorks WLSE から Cisco WCS に変換されたシステムには脆弱性が存在します。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

変換ユーティリティを使用して CiscoWorks WLSE から変換されたのではない Cisco WCS に

システムは、この問題には該当しません。 また、バージョン 4.2 以降の変換ユーティリティを使用して CiscoWorks WLSE から Cisco WCS に変換されたシステムにも、この脆弱性はありません。

Cisco Unified Wireless Network ソフトウェア リリース 4.2 についての詳細は、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/wireless/controller/4.2/configuration/guide/ccfig42.html

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.1	2008-April-25	CSCsj71081 の CVSS スコアへの更新済リンク 。
リビジョン 1.0	2007 年 10 月 10 日	初回公開リリース

利用規約